

by k.k.  
2014.9.25

# コンパクトシティの計画技術の課題

- 集約構造の定義
- 拠点の大きさと機能
- 拠点連携やネットワークの意味
- 拠点と圏域
- 目標像設定によるマスタープランと実現プロセス
- リーダーシップと合意形成
- 規制誘導と整備による計画手法
- 将来市街地空間形成への市民参加、コミュニティ参画
- 学会、研究動向から学ぶ
- 先行事例から学ぶ

# 日本都市のコンパクトシティへの道 : 対立する7視点・テーマ

視点・テーマ	コンパクトシティ指向	非コンパクトシティ指向など
1.空間形態	駅周辺など中心市街地、拠点	郊外一住宅地、沿道型諸機能
2.都市連携	大都市優位	小都市の独自性、相対的自立
3.総合的政策	都市	農山村、農地・自然
4.理想と現実	行政効率＝市民負担の軽減	近隣生活・思い、所有・資産価値、自動車利用ライフスタイル
5.代替政策	空間形態(ハード)	情報・サービス手法(ソフト)
6.役割分担	行財政支援、規制誘導	コミュニティ、民間市場
7.代替空間形態	一極集約型 集約連携型	自立分散型 非定住型居住地 適密居住地

# 対立する視点5: 代替政策

- 都市空間形態(ハード)
- 生活行動・ライフスタイル・情報やサービス(ソフト)

【レーダーチャートのイメージ(同規模都市と偏差値での比較)】

